

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けた放射線監視強化結果

ここでは放射線監視強化期間中(3月12日～現在継続中)の降水、大気中の塵、大気中ヨウ素に関する、これまでの測定結果をとりまとめています。

- ・ **松江市 図1** (※降水については、12月29日以降、月1回に変更。大気中ヨウ素(ガス状)については、7月22日採取分、大気中の塵については、12月28日採取分をもって休止)

大気中の塵	図1のとおり 期間中、ヨウ素131の検出29回(最大0.0041Bq/m ³)、セシウム134の検出22回(最大0.0041Bq/m ³)、セシウム136の検出1回(0.00015Bq/m ³)、セシウム137の検出15回(最大0.0086Bq/m ³)、テルル132の検出1回(0.0045Bq/m ³)
大気中のヨウ素(ガス状)	期間中、ヨウ素131の検出4回(最大0.062Bq/m ³)
降水	期間中、ヨウ素131の検出7回(最大5.5MBq/km ²)

- ・ **益田市 図2** (※3月22日15時から実施、7月22日採取分をもって休止)

大気中の塵	図2のとおり 期間中、ヨウ素131の検出21回(最大0.0056Bq/m ³)、セシウム134の検出20回(最大0.0063Bq/m ³)、セシウム136の検出1回(0.00021Bq/m ³)、セシウム137の検出20回(最大0.0057Bq/m ³)、テルル132の検出8回(0.0021Bq/m ³)
大気中のヨウ素(ガス状)	期間中、ヨウ素131の検出4回(最大0.090Bq/m ³)
降水	期間中、ヨウ素131の検出5回(最大2.0MBq/km ²)、セシウム134の検出2回(最大3MBq/km ²)、セシウム137の検出1回(0.79MBq/km ²)

測定の結果、3月24日採取分から福島第一原子力発電所の影響と推測される放射性物質が検出さるようになり、以降4月6日～8日頃をピークに徐々に検出量、検出頻度は減少していきました。なお、7月22日採取分から採取を休止した12月28日採取分までの間は、検出されませんでした。

その他に、監視強化として以下の項目も毎日測定していますが、これらについては、福島原子力発電所の事故の影響は認められていません。

- ・ 放射線量 (松江市:島根原子力発電所周辺11ヶ所、文部科学省水準ポスト(西浜佐陀町)1ヶ所)
(益田市・隠岐の島町:環境省酸性雨測定局ポスト2ヶ所)(※12月29日以降通常の監視状態に移行)
- ・ 地表面の放射能濃度測定(1時間連続測定を24回) (松江市西浜佐陀町1ヶ所)(※12月28日分をもって休止)
- ・ 上水(蛇口水) (松江市西浜佐陀町1ヶ所)(※12月29日以降、3ヵ月に1回に変更)

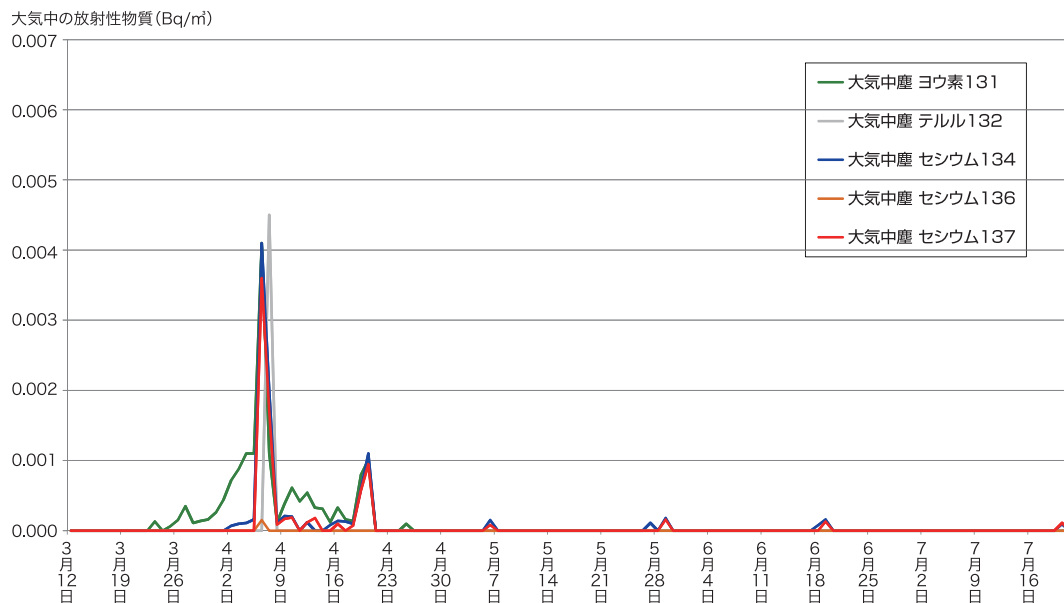


図1. 大気中の塵の人工放射性物質の監視調査結果(松江市西浜佐陀町)

(平成23年3月12日～7月21日(22日採取分)まで) ※7月22日～12月28日までの間は検出されず

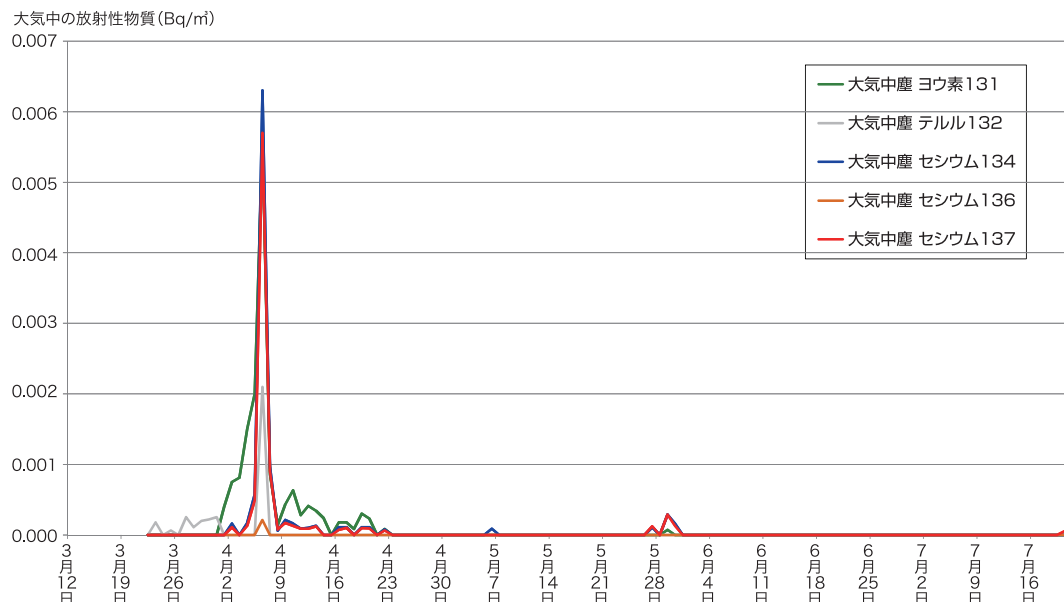


図2. 大気中の塵の人工放射性物質の監視調査結果(益田市昭和町)

(平成23年3月22日～7月21日(22日採取分)まで)